

るため問題ないと考えている。新耐震設計法以前の建物については、耐震診断事業をできるだけ早い時期に実施したいと考えているが、耐震診断1件につき数百万円というかなり大きな費用がかかることから、住宅マスタープラン等の作成に合わせて耐震診断の実施を考えている。

シロアリについては、シロアリが入っているとの情報が入れば、専門家と一緒に現場を確認し修繕することとしているが、厳しい財政事情もあり十分な対応ができていないのが現状である。調査の結果により緊急性の高い箇所から修繕を行っていきたい。

老朽化した住宅の維持管理については、耐用年数を過ぎた住宅の場合、耐震性も十分ではないため、政策空き家として入居をさせていない。

■「違法伐採問題等への取組みの強化を求める意見書」の提出を求める陳情について

内容 森林のもつ多面的機能並びに継続的・持続的な森林経営を阻害し、地域材の供給や木材を圧迫する違法伐採材の輸入の排除と、低コストで安定的な国産材供給システム

の確立並びに公共事業をはじめ、一般住宅等の建築の木造化への促進や木質バイオマス等への利用促進を優先的に行うよう、政府に対し意見書の提出を求められている。

審査結果 採択

脇川流域治水対策 特別委員会

委員長 叶岡 廣志

■鹿野川・野村ダム操作規則等に関する陳情について

内容 度重なる脇川の氾濫により、流域では住宅浸水や農作物の冠水、農業施設の浸水・崩壊など多大な被害を受けている。鹿野川・野村両ダムによる洪水調節を優先した連携操作を行うとともに、緊急時には予備放流を早め、ただし書き操作などの柔軟な操作が可能となるような操作規則の改善、並びに水害の軽減につながる更なる河川整備の促進を図ることを関係機関に対し意見具申を要望。

意見 現在の操作規則は住民や自治体の要望を踏まえ今日に至っている。その効果も鹿野川ダム完成後の54洪水を検

証した結果、51洪水に対して効果的な操作規則となつていくことが確認されている。また、今年の4月から鹿野川ダムの管理が県から国へ移管され、野村ダムとの一元管理となり、より効率的な洪水調整が可能となる。

審査結果 趣旨採択

議会日誌

・全員協議会
 ≪3月≫
 5日・大洲市消防出初式
 8～27日・第1回定例会
 30日・地方局再編協議

≪1月≫
 23日・佐賀県議会来市
 25日・四国西南地域市議会議長懇談会定期総会

27日・建設農林委員会管内視察
 31日・南予市議会議長会(芸予市)

≪2月≫
 1日・議会運営委員会
 6日・愛知県一宮市議会来市
 8日・愛知県知多市議会来市
 9日・全国市議会議長会評議員会(東京都)

14日・愛知県半田市議会来市
 15日・脇川流域治水対策特別委員会管内視察

・全国高速自動車道市議会協議会定期総会(東京都)

16日・広域行政圏市議会協議会総会(東京都)

17日・埼玉県熊谷市議会来市
 21日・愛媛県過疎地域自立促進協議会定期総会(松山市)

27日・大洲市都市計画審議会
 28日・議会運営委員会

支所で議会本会議 生中継がみられます

本会議当日、議場で傍聴が難しい方は支所で生中継を見ることができます。
 議会本会議の日程及び視聴場所については、市ホームページまたは各支所の電算担当係までお問い合わせ下さい。

編集後記

いよいよ平成18年度のスタートを切りました。

非常に厳しい経済情勢と市の財政状況ではありますが、困難な中においても着実な行政改革を進めてまいりますので、今後も市民の皆さんのご意見や知恵をいただきながら、議会の責務を果たしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



野村ダム



鹿野川ダム